

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	26	1	基本事務事業名	地籍調査事業	事務事業名	地籍調査事業	公的関与	1	シート作成日	平成23年5月25日				
	部局名	建設部		課名	地籍調査課	主務課長名	瀬尾勇雄	シート作成者名	尾崎啓蔵						
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的業務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(1)調和のとれた土地利用の推進		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	46	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
			主要施策		(3)地籍調査事業の推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	国土調査法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市内の地籍調査未実施地区											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	阿波市内の地籍調査未実施地区の調査を完了										
			今年度	阿波市吉野町柿原字植松甲地区の一筆地調査及び測量並びに吉野町柿原字ノタ原地区の原図作成、地籍測定、地籍簿の作成											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 一筆地調査(境界立会、土地所有者の調査等)														
	② 測量(地籍図根点・図根点多角測量、地籍細部並びに一筆地測量)														
	③ 地籍図及び地籍簿の作成														
	④ 地権者による閲覧														
	⑤ 法務局への送りこみ														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標			
	筆数	山間部 150筆		平地 500筆	筆	目標	500		400		500		完了		
						実績	500		400						
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	2	農地費	目	2	国土調査費	
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考		
		国庫支出金				1,695	千円			1,520	千円	1,395		千円	
		県支出金				847	千円			760	千円	697		千円	
		地方債					千円				千円			千円	
		その他特定財源					千円				千円			千円	
		一般財源				848	千円			760	千円	698		千円	
	計(A)				3,390	千円			3,040	千円	2,790		千円		
	人件費(B)	正職員工数・経費		4.000	人	25,134	千円	4.000	人	24,503	千円	4.000	人	24,178	千円
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円		
全体事業費(A+B)				28,524	千円	27,543	千円	26,968	千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	市以外の実施主体はなく、また、平地部の未調査地区は、旧吉野町地区だけなので緊急を要します。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	災害復旧・復興遅れの解消や公共用地の適正管理の必要性、市の課税の公平性に幅広く役立っています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	事業の達成率は100%で、十分に目標を達成しています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	年間500筆程度の調査筆数は適量で、効率よくできています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	阿波市総合計画に基づいて遅延地区のないように調査を進めていくことと、土地所有者の地籍調査の必要性や境界立会の重要性の認識が薄いため、調査地区に精通した推進員を確保し事業を推進していくことが必要です。また、尚一層の事業進捗率の向上を図るならば、実施手段の変更並びに予算の倍増が必要となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	計画地区を確実に完了していき、調査地区に精通した推進員を確保し事業の重要性を周知して住民に理解を求めています。					地籍調査事業の成果は、行政機関のみならず重要性が認識されており未実施区域について積極的に推進を図る必要性があります。					
委員会指摘事項											